



高知県建築文化賞

●作品名 **土佐・龍馬であい博テーマ館等 新築工事**

[高知駅周辺地区]

●建築主 土佐・龍馬であい博推進協議会 会長 尾崎 正直

●設計者 (有) 艸建築工房 代表取締役 平山 昌信

●施工者 新進建設(株) 代表取締役 小川 裕司

◎用途／展示場など ◎構造／木造

◎敷地面積／6264.67㎡ ◎建築面積／966.02(仮設部)、624.24㎡ ◎延床面積／689.93(仮設部)、498.39㎡

●設計趣旨

この建物は、土佐・龍馬であい博のメイン会場である「高知・龍馬ろまん社中」と、高知県内の情報を発信する「とさてらす」等の複数の棟で構成されています。

外観デザインは、高知の地場産材(杉や桧)を多用しながら、土佐の強い日差しに対し深い庇を設け、低重心の水平線の強調と、「光」と「影」による陰影を生み出しています。また、壁面を焼杉材に統一し、各棟の調和と一体感を図るとともに、公共用歩廊や屋外通路の列柱・管柱により、一定のモジュールの、リズム感のある連続性を演出しています。

また、床材や地盤レベルあわせ、駅前広場との連続的な利用を図りながら、施設群が、駅舎や駅前広場と一体となった、景観を生み出すよう配慮しています。

「とさてらす」以外の建物は仮設建築物となるため、であい博の会期終了後解体となりますが、「土佐・龍馬ろまん社中」については、部材の再利用を図るために、柱、梁、屋根を約5.1m×5.1mのユニットに分解することができ、現在、県内でその再利用先が検討されています。